

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和5年3月27日

事業所名 ひまわりくらぶ呉中通

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			ワンフロアのため、音に敏感な児童や、クールダウンが必要な時、着替えなどは、相談室を利用している。
	2	職員の配置数は適切である	○		利用予定により、配置数を考慮し、職員配置の設定を工夫している	随時、募集をかけているが、保育士や児童指導員の確保はなかなか難しい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		施設内はバリアフリー	4階にあるため、エレベーターを利用したの来所となるため、安全に充分気を配っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		従業員のコミュニケーションを大切に、日々の目標設定と振り返りを行っている。	チーム力の強化。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート頂いた事を基に、より良いサービス提供に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ上で公表	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価実行なし	現段階で外部評価はやっていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月一回、合同研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		各児童や保護者に寄り添った計画書を作成している。	必要性を感じる時に、アセスメントを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		アセスメントツールをもっと支援で生かしていけるよう、今後の研修課題に組み入れる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	児童発達支援管理者が主に立案を立てている。	幅広い活動プログラムの実現のために、各職員との意見交換やアイデアを出し合う等、チームでのプログラム立案の実現を目指している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		それぞれの児童が楽しめるよう色々な活動を組み入れ工夫している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		活動予定の設定プラス当日の児童の要望なども取り入れている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		日々、個別活動と集団活動を組み合わせて計画している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日開始前ミーティングで打ち合わせと役割の確認をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	送迎終了時間が違うため打ち合わせはできないが、伝え合いは必ず行っている。	支援開始前の打ち合わせの際に、前日の振り返りや気付き、伝達事項を共通理解するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		児童の支援活動時の様子や日々の変化など細かく記録し、振り返り及び改善に繋げている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年ごとに行い、計画内容や支援内容を見つめ直し、より良い支援を検討している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○		行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理者が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校お迎え時に担任の先生との対話、伝達等で情報共有できている。ホームページでも確認。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	医療的ケアの必要な児童の利用なし。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		機会がない。相談支援事業所からの情報にとどまっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	情報提供を求められていない為、情報共有できていない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			コロナ渦でも、広事業所（ひまわり）との交流や、図書館でのお話し会の参加、公園遊びの際の交流のなど努めている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	27	自立支援協議会等へ積極的に参加している		○	送迎等の兼ね合いにより、参加できていない。	環境を整え、参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やメール、お電話等で細かな状況を把握し、現課題についても共通理解できている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	保護者に対してのトレーニング支援は行っていない。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご契約や報酬改定、支援内容変更時など、重要事項説明書等で説明	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		その都度、相談や困りごとを伺いながら、親身な対応、支援に努めている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナ渦のため、行事やイベントを控え、保護者会や参観等、開催できていない。	来年度は、状況をみながら、季節ごとのイベントや参観日、保護者会など、企画し開催していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情対応窓口を設け、迅速且つ誠実な対応と解決に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	コロナ渦で行事イベントもなかったため、会報の発信もできていない。	
	35	個人情報に十分注意している	○		法令遵守に努めている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			保護者と細やかな情報共有を図り、安心してご利用いただけたら、相談していただけるよう、信頼関係の構築を心掛けている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今現在は、できていない。	コロナ前は、季節ごとに参観日と称して、イベントを行っており、地域の方々の協力を仰ぐなど、交流もあった。またイベントを行なっていけるよう考えている。	
非常時等の	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	職員は防災マニュアル等、周知。保護者への周知はできていない。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		半期に一度、室内訓練 机上訓練を行い、避難場所、経路の確認など	事務所が道路に面しており、歩道を歩くのが危険な児童が3名いるため、実地訓練はなかなか難しい。室内訓練や机上訓練を行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
対 応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期研修会の実施。全職員、周知、共有している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現時点では、計画に記載するような身体拘束の場面がない為、記載していない。	身体拘束については、研修会で話し合い、職員間で話し合い共有、検討している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の指示書を提示されている児童については指示通り対応。	食物アレルギーのある児童で、保護者からの伝達の場合も有、職員内で共有し保護者の指示の対応をしている。医師の指示書を提示してもらうよう働きかける。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		研修内容に組み入れ、各事例を元に、職員で共有し話し合っている	研修に参加できなかったスタッフにも、周知している。